

2012年4月① 404号

議員団HP <http://jcpatsugi.blog.shinobi.jp/>

今週の活動から

厚木市斎場 4月1日オープン

厚木市斎場 竣工式



厚木市下古
沢に建設され
た厚木市斎場
が4月1日から
稼働します。
3月24日(土)
に竣工式が行
われました。

敷地面積8万6600㎡に、式場は2室（各100名
参列可）、火葬炉は6基。延べ床面積6700㎡。

本厚木駅から、車で約15分。周りは自然たっぷり、落ち着いた雰囲気です。明るく広いエントランスホール。2階の待合室へ行くエスカレーターのそばには自動演奏のグランドピアノがあり、「ハナミズキ」が流れていました。待合ホールや待合室、売店、キッズコーナーもあります。絵本もたくさん準備されていました。

斎場は誰でも必ず利用するところであり、送る方が落ち着いてお別れできる場所であることが必要です。この斎場は他の会葬者と顔を合わせることがないように動線が工夫されています。

太陽光発電、雨水利用といった環境対策がなされ、災害対策として3日間の運転可能な発電機、バーナー6基も設置されています。

24, 25日は一般見学ができて、約400人が来たそうです。

(左：釘丸久子議員、右：栗山香代子議員)

補正は早くして市民要望に対応を

2月議会最終日
反対討論(3月16日)
釘丸久子議員

平成24年度特別会計予算（国民健康保険事業、後期高齢者医療事業、介護保険事業）及び平成23年度一般会計補正予算（第10号）に対する反対討論です。

後期高齢者医療事業、国民健康保険事業、介護保険事業の特別会計

老後を安心して過ごせる介護や医療の制度が、今危機に瀕しています。後期高齢者医療事業は廃止すると言ったのに、いまだ新たな制度の設計ができていない状態ですが、国民健康保険事業との合体を狙いながら、それでも差別医療は残すものです。さらに、国保の広域化さえ狙っています。

自治体の間では極めて限定的です。後期高齢者医療や介護保険における高齢者医療は保険料の徴収事務のみが介護保険では保険料徴収と認定業務が主な仕事です。この上、国保までが専一拵になったら、高齢者の実態をしかりつかみ、その悩みを解消することが、ますます困難になってしまいます。自治体独自の減免も、広域化では実施できません。



3 回目です。生活再建のめどが立たない、あまり進んでない人が80%、生活再建には公的資金の援助や国の全面的支援が必要という要だという人は9割を超えています。原稿をすくすく読むには69%が賛成。「反対」は7%にすぎません。

東日本大震災は国民生活に大きな影響を与えました。

企業誘致
企業が、震
進出を断念
助成事業で
足し、建築
申請減とな

木造住宅に
助金の活用は
き、市民に
と研究する

住宅手当
緊急雇用創出
予算の3分
保護で対応
活保護から
形になぜで

新年度予算採決と討論

(○賛成 ●反対 ※討論)

議案名	会派	神奈川ネット（内川由喜子）	市民の党（奈良博）	みんなの党（井上武泉修）	民主クラブ（名切文梨古川環）	市政クラブ（石井恒雄、井上敏夫）	公明党（寺岡まゆみ、田上祥子、川口仁、遠藤浩一）	あつぎみらい（松田則康、沼田幸一、神子雅人、越智一久、難波達哉、越辺直雄、瀧口慎太郎）	改革あつぎ（石井芳隆、徳岡和男、木田洋、小島一郎、松前進、高田浩、松本樹彰）	日本共産党（釘丸久子、栗山香代子）	採決結果
一般会計	●※	○※	●※	○※	○※	○	○※	○※	○※	○※	○
公共用地取得事業	○	○※	○	○	○※	○	○	○※	○※	○	○
後期高齢者医療事業	●※	○※	●※	○	○※	○	○	○※	○※	○	○
国民健康保険事業	●※	○※	●※	○	○※	○	○	○※	○※	○	○
介護保険事業	●※	○	●※	○	○※	○	○	○※	○※	○	○
交通災害共済事業	○	○※	○	○	○※	○	○	○※	○※	○	○
市公共下水道事業	○	○※	●※	○	○※	○	○	○※	○※	○	○
病院事業	○	○※	○	○	○※	○	○	○※	○※	○	○